

新年を迎えて



## 謹んで新年のお慶びを申し上げます。

理事長 伊藤 祐一郎

会員の皆様には、健やかに新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

昨年は国内・海外とも

に経済に明るい兆しが見えない中、当協会におきましては、九州新幹線や海外への直行便増便などの効果を最大限に活用し、また、その効果を県内全域に波及させるため、国内はもとより、東アジアを中心とする海外において各種事業に取り組んだ一年で

ありました。皆様方から絶大なる御支援・御協力をいただきましたことに心から感謝申し上げます。

さて、本県には、豊かな自然や個性ある歴史・文化、多様な食材など全国に誇れる「本物」の素材があります。今年も、

会員の皆様のより一層の御支援・御協力をお願い申し上げますとともに、本年が、素晴らしい年となりますことを心から祈念いたします。

いた魅力あふれる特産品づくりや販路拡大に、これまで以上に取り組んでいきたいと考えております。

さて、本県には、豊かな自然や個性ある歴史・文化、多様な食材など全国に誇れる「本物」の素材があります。今年も、

会員の皆様のより一層の御支援・御協力をお願い申し上げますとともに、本年が、素晴らしい年となりますことを心から祈念いたします。



## 第3回理事会開催！補正予算案等承認!!

平成24年度第3回理事会が12月14日に開催され、新規入会7件、および鹿児島空港国際化促進協議会から受託した「鹿児島ー上海航空路の活用促進のための事業」の3百万円の補正予算について議論がなされ、承認されました。このほか、理事会では、欧州への研修、ブランドショップの設置場所、工芸品新規事業の取組、ワーキンググループを設置して協会のあり方を検討することなど、今後に向けて活発な意見が出されました。

## 新たな商品開発や市場開拓に物産観光展の活用を！

当協会では、県産品の販路拡大や観光客の誘致促進を図るため、毎回、鹿児島の魅力をお客様に充分伝えられるようなテーマや企画を立て、話題性や新規性をとり入れて、全国各地の百貨店などで物産観光展を開催しています。

今年度は、鹿児島の食品・工芸品・観光を総合的に宣伝・販売する物産観光展をはじめ、九州展などを40会場程度で実施しています。

会場によっては百万部を超える新聞折込チラシ、ポスター、車内吊り広告や懸垂幕など大規模な広報宣伝を行うことから、本県のPRとイメージアップに大きな効果があります。また、お客様やバイヤー等から直接意見を聞くことで、商品の評価や消費者ニーズなどを把握することができ、商品の改良や新商品開発などにも活かせるとともに、顧客の獲

得、定常的な取引への拡大、ギフト商品への参入、テナント出展など販路拡大へもつながります。

出展している食品企業からは、「お客様から直接、『高い』、『おいしく』、『味はいいのだが、容器を変えてほしい』など生の声があり、その声を基に小容量の商品や辛味の強い商品を開発して販売したところ、売れ行きも良く、今では、会社の主力商品になっています」、「お客様から引き出物に箱入り商品の大量注文をいただいた」「こだわり商品を取り扱う会社の方が会場に来て、その後商談が成立し、5年以上続いている取引先が2社ある。自分たちのよう

に限ります。

また、品質表示や容器包装の識別表示などに不備がある場合、県外での物産観光展に限らず、売り場にい商品開発や販路開拓につながることもあり、楽しいし、ありがたい」と話されています。

新商品などの売り込みや出展についてのご要望は、隨時、協会までお寄せください。

出展にあたっての主な要件は次の2つです。

- ①販売商品は、県内で製造された自社商品で、食品衛生法、JAS法、家庭用品品質表示法、特許法、商標法等の関係法令等を遵守したものに限ります。
- ②会期中は、商品の搬入・搬出、販売、商品説明のできる社員を派遣し、会場に常駐していただきます。



11月初旬、多くのお客様でにぎわったさっぽろ東急での「第32回 燃える鹿児島 大薩摩展」